



令和2年度アーバンデザインスクール
これからの健康都市に向けて～with/afterコロナのまちづくり～

With/afterコロナにおけるプレイスメイキング

-南草津の公共空間の利活用に向けて-

2021.02.26 Fri.
有限会社ハートビートプラン 取締役 園田聡



好きだと思えるまちがある。

-わたしの「やりたい」がだれかの「楽しい」になるまちへ。

「まちにワクワクを編み込む都市デザイン事務所」

暮らしの豊かさを映す鏡

Public Life.

必要活動
運動や買い物等義務的な意味合いを含む活動。物的環境の影響は少ない。

任意活動
散歩やレクリエーション等そうしたい気持ちがあり場所や時間が許す時に行われる活動。物的環境の影響は大きい。

社会活動
他者を眺める、あいさつや会話、各種コミュニティ活動といった他者の存在を前提とした活動。物的環境の影響は大きい。




Jan Gehl (2010) : Life Between Buildings

多様な活動の受け皿

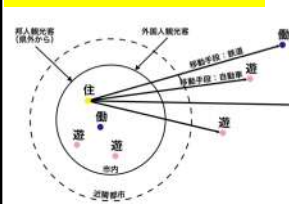
Public Space.

PLACE! カフェ
PLACE! 川
PLACE! 道路
PLACE! 広場
PLACE! 図書館
PLACE! 美術館

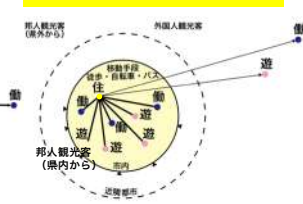


コロナ禍による「生活圏域」の変化

これまで：都市間経済圏



これから：地域内経済圏

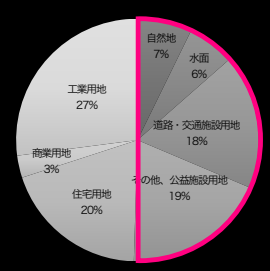


近隣都市中心部のオフィスエリアへ通勤	通勤	リモート化により在宅もしくは市内のシェアオフィス勤務
近隣都市中心部の繁華街、商業集積地へ	余暇	大規模都市中心部を避け、市内や近隣の <u>書店や公園</u> へ
国内全域の観光地へ / 海外からのインバウンドが隆盛	観光	近隣圏での <u>マイクロツーリズム</u> へ / 海外客の回復は長期戦
通勤や余暇では鉄道や飛行機などの大規模輸送機関を利用	移動	個々の行動の変容によりパーソナルモビリティのニーズ増

公共空間 (Public Space) のインパクト

50%

市街地において公共空間が占める面積



※まちなか一都市計画区域内のうち、山林と農地を除いた土地
※公共空間＝自然地、水面、道路、橋路、交通施設用地、その他、公益施設用地
出典：豊田市都市計画基礎調査（平成18年）

都市デザイン手法としての

PLACEMAKING

空間 SPACE

居場所 PLACE

(形態 FORM + 活動 ACTIVITY) × 印象 IMAGE =

都市にコミットする。
そのプロセス自体をデザインする。

「共有の資産」としての公共空間

「都市に暮らす人々」

豊かさを消費する
「消費者」

▼

豊かさを共に創る
「共創者」

Official
公的なもの
公共事業・公的資金・公安

Common
共有のもの
公共の福祉・公益・公共の秩序

Open
開かれているもの
公然・情報公開・公開

「公共」 = 「Public」の3つの意味

出典：豊橋第一（2000）「公共性」

The Power of 10

【ダウンタウン】
10以上のエリアが集まる
都市の中心的な市街地
★ 都心ばこんなエリア

【エリア】
10以上のプレイスが集まる
個性を持った地区や目的地
★ 都心ばこんなプレイス

【プレイス】
10以上のアクティビティ
が展開されている豊かな場所
★ 都心ばこんなアクティビティ

10 Phase × 10 Method

1 「なぜやるか」を共有する	1 Check Sheet
2 地区の潜在力を発掘する	2 The Power of 10
3 成功への仮説を立てる	3 Story Sheet
4 プロジェクト・チームをつくる	4 Stakeholder Map
5 段階的に試行する	5 Sounding
6 試行の結果を検証する	6 LQC: Lighter, Quicker, Cheaper
7 空間と運営をデザインする	7 Feedback Meeting
8 常態化のための仕組みをつくる	8 Place Survey
9 長期的なビジョン・計画に位置づける	9 Character Map
10 取り組みを検証し、改善する	10 Placemaking Plan



都市の概要



豊田市
Toyota City

所在地：愛知県豊田市
市域：約918km²
人口：約43万人
タイプ：地方都市中心市街地
主導：市・地元事業者・都市コンサル
実施年：2015年～

Phase 1 「なぜやるか」を共有する



トヨタ自動車のお膝元で
「車から人へ」の転換を図る

Point ウォーカブルで自立的なまちなかへ



Point ウォーカブルで自立的なまちなかへ



活用(つかう)と再整備(つくる)両輪で実現する

Phase 2 地区の潜在力を発掘する



The Power of 10

Phase 3 成功への仮説を立てる

みんなでアイデアを持ち寄り、まちをもっと面白く
とよたのまちなかを本気であそぶ、つかいこなす!

みんなのアイデア
プロジェクト
とは?

Common
共有のもの
公共の福祉・公益・公共の秩序

都市の豊かさを消費する
「消費者」
▼
都市の豊かさを共に創る
「共創者」



Phase 10 取り組みを検証し、改善する



Phase 10 取り組みを検証し、改善する



Point 滞留動機となるコンテンツを強化

- カフェ (食う)
 - 広場の目印 (持ち合わせや巻物)
 - 休憩室が滞在するための滞在ポイント
 - 収益の一部を広場空気に再投資
- アトリエ (生む)
 - ももつくりのシーンの見える化
 - 市民の参加を促す機会
 - 豊田ならではのシーンの創出
- ラボ (伝える)
 - まちの歴史を伝える
 - 多岐にわたる市民参加型デザイン企画開催
 - シビックプライドを育てる拠点
- サロン (交わる)
 - 市民や事業者の集まる場
 - 集まるための空間 (カフェ)の臨場感としての機能
 - 市民の小さな意見交換スペース
- スタジオ (表現する)
 - 市民の個性を表現する場
 - まちづくりの盛り上げの夜
 - まちづくりの楽しさやこと、情熱が共有されていくことを見せる
- スクール (育てる)
 - まちづくりの盛り上げの夜
 - 市民の「協働的参加型」から、「協働的な手」へと育てていく







Point 実証結果を設計要素に落とし込む

① 樹木+芝生
② コンクリート+段差
③ 土+アンカー
④ インフラBOX+ベンチ



Point 「ルール」ではなく「自治」

この広場だからできることがあります。自由に楽しもう！

ボール遊び できます 原田エリア コンクリートエリア 大人専用ベンチ 児童専用ベンチ ※児童専用ベンチは、 お家の方の同意が必要です。	スポーツ できます 原田エリア コンクリートエリア 大人専用ベンチ 児童専用ベンチ ※児童専用ベンチは、 お家の方の同意が必要です。	火の使用 できます 原田エリア コンクリートエリア 大人専用ベンチ 児童専用ベンチ ※児童専用ベンチは、 お家の方の同意が必要です。	音楽演奏 できます 竹田エリア 全エリア ※演奏活動は、 行先に応じて、 事前の許可が必要です。 ※お家の方の同意も 必要です。	イベント できます 全エリア ※イベントは、 事前の許可が必要です。 ※お家の方の同意も 必要です。	出店・販売 できます 全エリア ※出店・販売は、 事前の許可が必要です。 ※お家の方の同意も 必要です。
--	---	---	--	--	--

広場の自由な利用を維持するために！

- 自由と責任** 広場を借り、入場し、自由に楽しむ権利と、責任を負う義務があります。
- 利用は譲り合い** 自由使用できない時間帯や、多様な人や活動が共存できる広場の環境を大切にしましょう。
- どんだん発信を** 広場は、多様な人や活動が共存できる場です。ぜひ発信の機会を大切にしましょう。
- ごみは持ち帰る** この広場は、自治体と協働して運営されています。ごみは持ち帰って、きれいな広場を維持しましょう。
- タバコは吸わない** この広場は、禁煙エリアです。タバコを吸わないでください。
- 音は控えめに** 広場は、静かな環境を大切にしましょう。音は控えめにしてください。

公民連携 2 コンテンツホルダー × 規制緩和

Public Life.

テーマ・コミュニティ × 地縁コミュニティ

プレイスメイキングがもたらす価値

- 地域の人々が地域の資源を用いて、地域のために取り組むためのプロセス・デザイン
- 協働によってつくりあげる「作り手」と「使い手」の双方向性創出
- プレイスとしての公共的空間「与えられる」から「自ら獲得し育む」への意識転換
- 「人・場所」の関係性のデザイン プロセスへの参画による場所への愛着の醸成
- プロセスの体系化 地域で計画し地域で実践する手法の提供
- Social Capital 社会関係資本の活用・強化

Placemakingの応用 南草津での展開に向けて



Point 取組のゴール設定を関係者で共有する

<p>交換価値 Exchange VALUE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済行為を伴って生まれる価値 ・土地や建物の取引価格 ・商業や業務床の賃料向上、開発や取引の活性化 等 	<p>利用価値 Use VALUE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間利用を伴って生まれる価値 ・アクティビティの数や多様性 ・利用者の活動、出合いの場 ・就業環境の向上 等 	<p>印象価値 Image VALUE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所の認知を伴って生まれる価値 ・その場を形容する言葉、印象 ・その場所らしさの表出、利用者や住民の愛着醸成 等
<p>社会的価値 Social VALUE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の交流を伴って生まれる価値 ・ネットワークの機会創出 ・利用者同士のネットワーク構築、人々の振る舞いの向上、ビジネスチャンスの創出 等 	<p>環境価値 Environment VALUE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の健全化を伴って生まれる価値 ・良好で持続可能な環境の形成 ・都市の緑化、自然の再形成、生物多様性創出への貢献、環境負荷の低減 等 	<p>文化的価値 Cultural VALUE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化的活動を伴って生まれる価値 ・地区の個性の顕在化 ・文化的活動の多様化促進、アイデンティティの形成、地区の歴史、背景の顕在化 等

Point シーンから発想し都市レベルで解く

<p>空間デザイン</p>	<p>コンテンツデザイン</p>
<p>都市デザイン</p>	<p>交通デザイン</p>

Point 空間：沿道連携 / 道路占用・使用等

空間デザイン






アイデアを持った誰もが
「この指とまれ！」で
始められる都市デザイン

Point コンテンツ：プレイヤー/エリア価値等



コンテンツデザイン

Point 季節、曜日、時間、利用者の掛け算



将来、駅前や通りが楽しく居心地の良い場になると、様々な時間帯に多様な来街者や近隣住民に利用される。

人の滞留が生まれると沿道オーナーにとってのビジネスチャンスにつながり、自己資産やエリア価値が向上する。

Point 都市：生活動線/都市機能配置等



都市デザイン

Point そこには歩きたくなる動機があるか

「ウォーカブル」な環境づくり

1st step 街に出掛ける動機をつくる
①魅力的な目的地
通勤や通学などの「必要活動」ではなく、行きたいからいくと思える「任意活動」や「社会活動」を街に増やすことが第一歩となる。

2nd step 通りやすく心地よい歩行環境をつくる
②快適な歩行環境
車や自転車なども含めた交通体系の中で、安全に安心して通ることができ、緑や休憩場所なども配された快適な歩行環境で目的地を繋ぐ。

3rd step 道中も楽しめる出会いの機会をつくる
③偶然の出会い
目的地と目的地を結ぶ道中においても、新しいお店の発見や知り合いと出会うなど、予期せぬ「偶然の出会い」が街への期待感を高める。

Point 交通：自動車/マルチ・モーダル等



交通デザイン

Point 歩行者優先を可能にする道路計画

姫路駅を中心とした内々環状道路網

人にやさしい交通環境づくり

- ・歩行者、公共交通を優先
- ・安全で快適な歩行環境
- ・通過交通の流入抑制

Point ビジョンを現実にするアプローチ

従来の都市計画の流れ	プレイスメイキングのアプローチ
計画段階 総合計画・都市マスタープラン 地区計画・各事業計画 等	街における存在価値 質の高いサービス・機能の、波及・連鎖するための制度等の仕組みづくり
整備段階 土地区画整理事業・市街地再開発事業 総合設計制度 等	運営と空間の最適解 持続可能な事業計画を成立させ、都市のアメニティとなる空間デザインの検討
管理段階 道路法、道路交差点 都市公園法等の公的管理法	担い手の発掘・育成 「自由と責任」の理念の下、質の高いサービスを提供できる事業者を支援
活用段階 アドプト制度・発掘許可制度 指定管理者制度 等	ソリューションの検討 日常の生活をより豊かにする新たな都市機能やサービスの提供
利用者の「潜在的な」ニーズ・ウォンツ QOLの向上、自己実現の機会創出等、都市のアメニティとしての高次の要求	

Point 適正に応じた役割で得意分野を發揮

行政の戦略 (全体最適の視座)	民間の戦術 (具現化の視点)
学の知見 (可能性の視野)	

価値 多様な活動の「受け皿」の創出

価値 自分の「居場所」を選べる豊かさ

都市間競争を勝ち抜く「選ばれる都市」へ

令和2年度アーバンデザインスクール
 これからの健康都市に向けて～with/afterコロナのまちづくり～

With/afterコロナにおけるプレイスメイキング
 -南草津の公共空間の利活用に向けて-